平成15年(2003年)6月15日　第775号

市の鳥
カワラヒワ

# 広報えびな

編集・発行
海老名市役所　広報広聴課
〒243－0492
神奈川県海老名市勝瀬175番地の1
☎（046）231・2111
URL http://www.city.ebina.kanagawa.jp
＊この広報は再生紙を使用しています。

男女共同参画社会

# 理解と協力が大切

## 家事・育児など意識調査を実施

今月23日から29日は男女共同参画週間です。男女がお互いを理解し、職業や社会活動、家庭生活などを対等な立場で協力し合う男女共同参画社会の推進を目的としたこの週間を前に、市では、男女共同参画についてのアンケート調査を実施しましたので、その概要をお知らせします。

### 今後の施策に活用

この意識調査は、平成6年に策定した「えびな女性プラン」推進の基礎資料とするため実施したもので、市職員、市内小中学校教職員、市内企業7社の社員、計2002人（回収数1539人、回収率76・9％）を対象に行いました。各職場での男女共同参画に関する意識などを調査したもので、ここではその一例について紹介します。

### 男性の家事に期待

◎男性が家事をすることについてどう思いますか？（左グラフ参照）

市職員、教職員、社員とも、7割の男性、9割の女性が、「男性も家事をした方が良い」と考えていました。男性も女性の家事・育児の負担が重いことを理解しているようですが、「仕事が忙しい」「勤務が不規則で時間的に無理」などの理由で家事を行うことができないケースが多く見受けられます。一方、「家事をしない」と回答した男性のうち、1割強が、その理由として「家事は女性の仕事」「男性が家事をすることに抵抗がある」「家事は女性の方が向いている」と答えています。

### えびな女性プラン

女性施策を総合的・効果的に推進するために、市が行う基本方針・施策の体系を明らかにした計画。

### 家事・育児が仕事の負担

◎働き続ける上で何か問題はありますか？

すべての職種で2割の女性が、「家事・育児の負担が大きい」と答えています。結婚や出産を機に退職する女性も多く、年代が上がるにつれて仕事を続ける女性の数が減少していることから負担が大きいことが伺えます。

特に民間企業に勤める女性の半数が産前・産後休暇、育児休業を取得することも難しいと考えています。

### 子育て世代への支援制度の充実を

◎子育て世代の女性が仕事を続けていく上での障害になっているものはありますか？

「子育て世代に対する支援制度が不十分である」が一番多く、男女とも半数近くの人たちが回答しています。次いで「子どものための休暇が取りにくい」が女性で5割、男性では4割の人が回答しています。

### 女性の方針決定9割が肯定的

◎女性が方針（政策）決定の場に参画することで得られることは何ですか？

9割以上の人が、「男女双方の視点が入ることで、より良い仕事ができる」「女性の能力が認められることで、女性の仕事への意欲が高まる」と肯定的な意見が続きました。

市では、この調査結果を今後「男女共同参画社会づくり」の施策に活用していきます。

◇意識調査結果は、行政課での閲覧または市のホームページ上でご覧になれます。

問 行政課（内318）

## すくすく子育て ランチタイム講座

### 若い父親が子育て学習

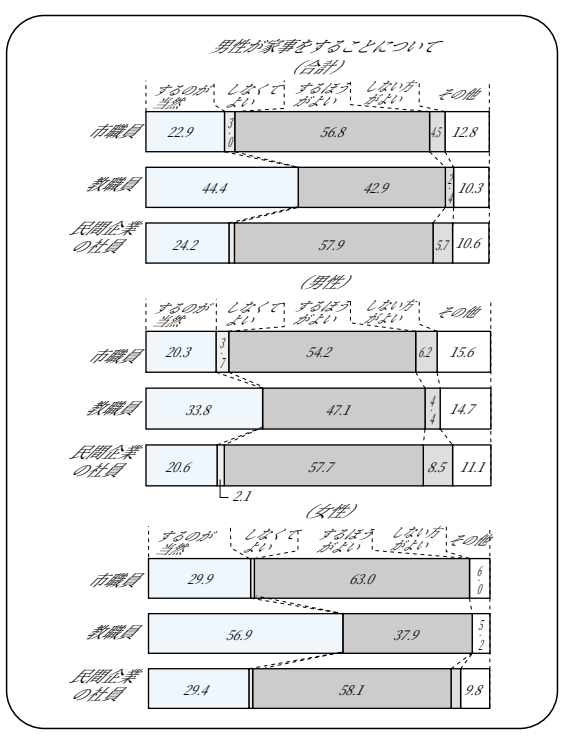
子育てには関心があるが、仕事が忙しくて手が回らない。こんな悩みを解消する手段として、子育て支援センターでは、5月から「すくすく子育てランチタイム講座」をはじめました。

この講座は、主に若いお父さんたちを対象に、経験豊かな保育士OBが昼休みに会社に出向き、子育てのアドバイスをするものです。県内では初の試みで全国的にも珍しい事業です。

5月28日に行われた同講座は、市内で企業向けのコンピューターシステム開発や構築のIT支援をしている会社を訪れました。昼食を取りながらの講座（写真）では、保育士が要点をまとめた画用紙を示しながら、夫婦で協力して行う子育てのポイントを話し、「奥さんに優しい言葉をかけることも必要」などのアドバイスも。終了後はさっそく相談を持ちかける熱心な参加者もいました。

市では今後も、企業の要望に対応しながら同講座を継続していく予定です。

問 児童福祉課（内455）。




## 男女意識せず働ける環境を…

### 女性の職場進出 実践活動を発表

今月1日、市教育委員会主催の週末講座で「男女共同参画の職場での取り組み事例」をテーマに講師を務めた嶋本泰子さんに「女性の職場進出」などについてお話を伺いました。嶋本さんは、市内の女性靴下・下着メーカーで人事開発のグループリーダーとして、男女共同参画に向けた啓発活動を実践しています。

―今まで会社が取り組んできた啓発活動でどのような成果がありましたか？

各部署への女性配置、セクハラ防止、育児休暇の充実などに取り組んできた結果、ほぼすべての職場に女性が配置され、おのおのが責任を持った仕事を任されて活躍しています。また、徐々にではありますが、女性のグループリーダーが誕生しています。

―女性が営業や企画部門などに参画することで得られることは何がありますか？

女性向けの商品を取り扱っている会社なので、より消費者に近い立場で取扱商品や店舗レイアウトなどの提案をしています。

―仕事をしてきて感じたことは何がありますか？

男女双方が〝男だから、女だから〟ということを意識せず、能力を最大限に生かして働ける環境が大切だと感じました。女性が働きやすい職場は、男性にとっても働きやすい職場になると思います。

週末講座で講師を務めた嶋本さん